

人生を楽しむ

第80回(平成27年4月号)のコラムでも「ラチナ世代」をテーマにしましたが、今回は実践編として再び「ラチナ世代」をテーマにいたします。

日本人の平均寿命は戦後50代前半でしたが、医療技術や食生活の改善により、平均寿命は81・87歳と大きく変貌しました。人生60年と言われた時代から人生85年と言われる時代です。定年後、長くなった人生をいかに快適に過ごすのが、大きな課題と言えます。

平均寿命が延びた今、60歳定年を迎えても85歳までには25年あります。また、定年を待たず早めに退職し、新たなスキルを身につける人もおられます。今後とも平均寿命は延びる傾向にあり、これから訪れる「長い坂」の存在に早く気がついて、準備しておく事が大切だと思います。準備を怠ると、前のままの価値観に支配され、新たな変化に対応できなくなります。人生に満足し、上り調子で歩むために、万全の準備をし、人生の終わりを迎えるその瞬間まで、ハラハラ・ドキドキ・ワクワクする人生を送りたいものです。

ぜひ、皆様には「人生の上昇カーブ」を描いて人生を送って頂きたいのですが、人生には楽しいことばかりではなく、悲しいことや辛いことなどいろいろあります。また、受験・入学・卒業、結婚、子どもの教育、家屋の購入など、いろいろな大きな出来事があります。これまでの出来事を縦軸(エネルギー)、年齢を横軸に山あり谷ありの横線を描いてみて下さい。それが今までの皆さんがこれまで生きて来た証です。

私たちが世代の人生は、周囲を気にして「いい子」になる事にこだわっていたように思われます。いつも100点を求められ、周囲の期待に応えるよう課題が与えられ、頑張つて競争を勝ち抜いて、給料・地位・自動車・家電製品を手に入れようとしてきました。いよいよ大学に入り、一流企業に就職、定年後退職金でローンを返済する事が成功者の証であるとして、多くの人が信じていました。この事が人生の「正解」でした。

「高度経済成長期」には会社が成長し、多くの人が給料も増え、成功の流れに乗る事が出来ましたが、今日の様に「成熟社会」になると、成功の流れに乗れない人が出てきます。一流大学を卒業しても、一流企業に入れるとは限らない。例え入っても、定年まで勤める事が出来るかどうか分からない時代です。今までの「正解」が「正解」ではない時代が到来してきています。

職場で自分の存在価値を高めても、退職後は他の人が、自分のしていた仕事をこなします。一方で、地域や家族は今までどおり存在します。退職して組織での肩書が無くなった時、地域社会や家族との付き合いがこれまでと同じ様に出来るかは疑問です。「成熟社会」を生き抜くためには、職場も大切でありますが、今以上に「地域」や「家族」との関係を大切にすることが重要だと思います。

私は「正解」のない社会を生きるためには、普段の自己研鑽、意識改革、変化に対応する力が必要だと思います。これからの人生を豊かに過ごすため、新しい事に挑戦する。例えば、語学が不得意であっても、真剣に取り組めば高度な語学能力が会得できると思います。家族関係についても、仕事優先の気持ちを変えれば、今以上に趣味の共有が出来ると思います。平均寿命が延びて時間はたっぷりあります。是非、これからの人生は再チャレンジを目標にして頂きたいと思っています。

安芸高田消防

安芸高田市消防本部・安芸高田消防署
TEL 42-0931 FAX 47-1191
HP http://www.aokitakata.jp/ja/shisei/section/119/



秋祭りなど催し物を行う時には届出が必要な場合があります

平成25年8月15日に京都府福知山市において発生した事故を踏まえ、安芸高田市火災予防条例の一部が改正(平成26年8月1日施行)され、秋祭りなど多数の人が集まる催しで**対象火気器具等**(ガスコンロ、発電機、バーベキューコンロなど気体、液体、固体燃料及び電気を熱源とする器具)を使用し露店やバザー等を行う場合は**消防署の設置及び3日前までに消防署長へ露店等の開設届出書の届出が必要**です。



※身内で行うバーベキューや花見などは対象外です。
【届出に必要なもの】
・露店等の開設届出書

届出様式

- ・開催場所を記入した地図
- ・対象火気器具及び消火器の配置図を(正・副)2部作成し、安芸高田消防署まで届けてください。
- ・また、露店等の開設届出書を提出していただいた方に限り、無料で消火器の貸出しを行っております。必要場合は合わせて消火器貸出申請書を提出してください。
- ・消火器は数に限りがありますので早めに申請書を提出してください。
- ・貸出しは原則、安芸高田市民に限りません。
- ・露店を業とする方への貸出しは行っておりません。

露店等の開設届出書及び消火器貸出申請書の様式は安芸高田市消防本部ホームページにあります。ご不明な点がありましたら安芸高田消防署警防係までお問い合わせください。

注意!! ガソリンの取り扱いに注意!!

仕事や農作業、イベントなどでガソリンを燃料とする機械を使うことがあると思います。ガソリンはマイナス40度でも蒸発し、静電気の火花や物がぶつかったときに燃焼する火花、ライターなどの裸火など小さな火源からでも爆発的に燃焼する物質です。



取り扱い方法を誤ると重大な事故につながる恐れがあり、死者が発生する場合があります。使用の際には次の点に注意してください。

- ・運搬には携行缶を使用する。
- ・火気がある場所で使用しない。
- ・必ずエア調整ネジを緩め、缶内の圧力を調整してから開栓すること。

※ガソリンを容器に注入する行為は自分ではできません。必ずガソリンスタンド等の従業員に依頼してください。



全国消防協会広島県支部研究発表会に出場しました

8月21日(金)に江田島市で開催された全国消防協会広島県支部研究発表会に、安芸高田市消防本部から児玉 勝太消防副士長が出席しました。

この会は、消防職員の資質の向上と消防の発展に寄与することを目的に、消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の発表を毎年行っています。

発表作品は「オールマイティフック」で救急現場や救助現場などで点滴を行う際、薬液が入っている袋をつりさげる為に、金属部分や窓、布などあらゆる場所に取りつけ可能なフックを考案しました。

適切な取り扱いを行い安全に使用しましょう。

減らそう犯罪

いのち

生命のメッセージ

市町リレー展示の開催!

日時 10月27日(火)～29日(木)
場所 クリスタルアージュ1階 市民ギャラリー

生命のメッセージ展とは、犯罪・事故・いじめなどで理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展で、メッセージと呼ばれる等身大の人型オブジェを遺族の手で作成されたものです。

このメッセージ展は、犯罪被害者などの名誉または生活の平穏への配慮、生命の重要性について市民の皆さんに広く啓発するために行うものです。ぜひ、ご覧いただき生命の大切さなどを感じ取ってください。

安芸高田警察署交通ミニコーナー H27.8末現在
●平成27年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	本年	前年	前年同期比増減数
人身事故	64件	77件	-13人
死者数	2人	0人	+2人
負傷者数	82人	120人	-38人

○交通事故の特徴(8月)
・脇見による追突事故(信号待ち)
・単独事故(二輪車転倒)
※8月中の人身交通事故発生数は9件でした。
運転中は、車間距離を十分にとり、時間とゆとりを持って、交通事故防止に努めましょう。

薄暮時の事故が増加
例年、日暮れが早まるこの時期から、薄暮時の交通事故件数が増加傾向にあります。

- 運転者は、「早めのライト点灯と上向きライトの励行」で、歩行者や障害物の早期発見と回避を心がけましょう。
- 歩行者は、「運転者が気付いているだろう」と思い込まず確実な安全確認と反射材・LEDライトをつけて外出するようにしましょう。ゆるやかなカーブの道路で、普通乗用車と中型貨物自動車正面衝突し普通乗用車を運転中の62歳男性が死亡

☆広島県警では、「年間交通事故死者数90人以下」の達成に向けて「なくそう交通死亡事故・アンダー90作戦」をキャッチフレーズに交通死亡事故抑止に向けた取組を展開しています。(広島県・8月末現在の死者 62人)

～皆様のご協力をお願いします～